

学年：3年	単元名：4. たし算とひき算の筆算 —大きい数の筆算を考えよう
-------	------------------------------------

1. 単元目標：(全7時間)

○3～4 位数の加減法の筆算の仕方を理解しその技能を身に付け、既習の数の見方や筆算の仕方を活用して筆算の仕方を考える力を養うとともに、筆算の仕方をまとめる過程を振り返り、既習と統合的に捉えようとしたり今後の学習に生かそうとしたりする態度を養う。

考判表・(3桁)±(3桁)の筆算の意味を考え、その仕方を考える。

- ・既習事項を活用して、筆算の仕方を考える。

知・技・3～4 位数の加減計算を筆算の手順を基にして計算が確実にできる。

- ・3～4 位数の加減計算は、2 位数などの基本的な計算を基にしてできていることを理解する。

2. 指導内容

3. 指導のポイント

○演算決定は、動作化によっておこなう。

○(3桁)±(3桁)の筆算の仕方を考える。(単位の考え方)

- ・10 や 100 を単位にして考えると、1 の位と同じように考えることができる。
- ・位を分けて考える。
 - ・100 を単位に考える・10 を単位に考える・1 を単位に考える。
 - ・100 の位は、100 の位で、10 の位は、10 の位で、1 の位は、1 の位で計算する。
- ・繰り上がり、繰り下がりについては、児童にいろいろと考えさせることが大切。
 - ・銀行での交換とか隣の位同士の相談とか場面を設定して考えさせるとよい。
 - ・「筆算劇場」でやると、楽しくできる。

○計算の意味を考えると、ブロックを使って、子どもたちに考えさせ発表もしっかりさせる。

- ・ひき算の場合は、求残で考えさせる。

○筆算の形式は、技能として徹底して指導。繰り返し計算練習が必要。

- ・間違える児童には、「原理」(単位の考え方)にもどって考えさせる。

○筆算の形式は、押し付けるのではなく、理由をしっかり理解させることが大切である。

- ・「なぜ、縦に位をそろえるのか？」
- ・「繰り上がり、繰り下がりの仕方について」

○4 桁の加減計算は、3 桁の加減計算の原理がわかっている問題ない。

何桁の加減計算でもできる子どもを育てておきたい。(オープンエンド)

十進位取り記数法の意味

- ・「数」は、「0」から「9」までの数字を使って、書く場所(位)によって意味が異なります。
- ・だから、計算は、同じ位同士計算しましょう。
意味が違うものを一緒にすることはできないからです。
- ・はみ出したり、足らなくなったときは、隣の位と相談しましょう。
どんな相談をしたらいいか考えましょう。

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

第1時

学習のめあて（作業・知る・考える）
〇3けたのたし算の筆算を考えよう。（P44/45/46）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
<p>1. 問題把握 （導入）今までの筆算の復習（P44） T:今日からたし算とひき算の筆算の勉強をします。 2桁のたし算の筆算を覚えていますか。どうやったのかなあ。 T:69+54は、筆算の形にかくと、こうなります。どうやって計算しますか。 C（計算方法の説明） ※ポイント ①一の位、十の位べつべつに計算する。 ②繰り上がる場合は、「銀行」で両替して上の位にわたす。 T:では今日の問題です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> $365+472$ の計算の仕方をブロックで説明しよう。 </div> <p>T:わかりますか。2桁のときと同じように説明できますか。 となりどうして話し合いながら考えましょう。</p>	<p>2年生の復習。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブロックで説明。 • P45 場面設定 演算決定→動作化
<p>2. 自力解決・学びあい C（話し合い） ※銀行で両替をすることにポイントをおきたい。 T:では、代表で、発表してもらいます。→C（発表） T（補足説明） T:そうですね。1が10集まれば、次の位の大きい1にするのと同じように、10が10集まったら次の位のおおきい1にすると計算ができるということですね。 T:いつも銀行が開いているわけではないので、自分たちでする方法を教えます。3人出てきなさい。 あなたは、100の位の人、あなたは、10の位の人、あなたは1の位の人。1の位の人から計算します。5+2=7ですね。これは、銀行へ行かないですね。だから「あげません」といいます。10の位の方は、「わかりました」といいます。 T:10の位の方は、いくつになりますか？→C:6+7=13です。 T:だから10をとなりの位の人にあげます。10の位の方は、100の位の人に「10あげます」といいます。100の位の方は、いくつもらったのですか。 C:1です。 T:そうです。「1もらいました」といいます。 忘れないようにもらった1をかきましょう。 T:では、100の位の方は、いくつになりましたか。→C:8 T:そうです。それで答えは、837になります。 T:これで銀行がなくてもできますね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 個別指導 • ブロックで説明 • 筆算劇場 • かき方の指導
<p>3. まとめ・ふりかえり T:P46②を銀行なしでやりましょう。 ※答えあわせのときに3人出させて話をさせる。 そしてきまりをおさえたい。「10あげます。」「1もらいました。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • かき方も指導もする。

第2時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○3けたのたし算の筆算に慣れよう。（P46）
○ $347+178$ $763+459$ ・子どもの代表を3人ずつ出して、説明させる。（ひっ算劇場）
○P46③－自力解決 ・答えあわせのときに3人出させて話をさせる。
○計算練習（計算ドリル）

第3時

学習のめあて（作業・知る・考える）
○3けたのひき算の筆算を考えよう。（P47）

教師の発問と活動・子どもの発言と活動	知識・理解・資料・評価・留意点 他
1. 問題把握 T:今日からひき算の筆算の勉強をします。 T:P47を見ましょう。「もえさんは・・・・・・何円残りますか。」 T:式はどうなりますか。→C: $315-194$ T:筆算の形にかくと、こうなります。 T:では今日の問題です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> $315-194$ の計算の仕方をブロックで説明しよう。 </div> T:わかりますか。たし算のときと同じように説明できますか。	・演算決定→動作化 ・ブロック
2. 自力解決・学びあい ※銀行で両替をすることにポイントをおきたい。 T:では、代表で、発表してもらいます。→C（発表） T（補足説明） T:そうですね。ひくことができなければ、上の位から10もらうのです。 1の位は、もらわなくていいので、そのまま、1ですね。 10の位は、ひけないので、100の位の1を10にかえて、もらって $11-9$ で2になります。100の位は、1減って、 $2-1=1$ になります。 T:でも、いつも銀行が開いているわけではないので、自分たちでする方法を教えます。3人出てきなさい。あなたは、100の位の人、あなたは、10の位の人、あなたは1の位の人。1の位の人から計算します。 $5-4=1$ です。 10の位の人に「いりません」といいます。10の位の方は、「わかりました」と答えます。次に、10の位の人です。ひけないので、100の位の人に「10ください」といいます。100の位の方は「1あげます」といいます。1あげたので100の位の方は3を斜線で消して2とかきます。10の位の方は、 $11-9=3$ です。 100の位の方は、 $2-1=1$ です。 T:これで銀行がなくてもできますね。	
3. まとめ・ふりかえり T:P47①を銀行なしでやりましょう。 ※答えあわせのときに3人出させて話をさせる。 そしてきまりをおさえたい。「10ください。」「1あげます。」	・かき方の指導

※繰り下がりの計算は、減加法がよい。

42-18の場合

10の位から1もらって10 $10-8$ で2 $2+2$ で4とする。

10の位から1もらって10 $12-8$ とはしない。

第4時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○3けたのひき算の筆算に慣れよう。（P48/49）

○402－175

- ・子どもの代表を3人ずつ出して、説明させる。
- ・一の位の子：10ください→十の位の子：ちょっと待ってください。
十の位の子：（百の位の子に）10ください→百の位の子：1あげます。
十の位の子：（一の位の子に）1あげます

○計算方法は、

- ①あげたらすぐ書け！
- ②もらったらすぐ使え！

○P49②－自力解決

- ・答えあわせのときに3人出させて話をさせる。

○計算練習（計算ドリル）

第5時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○1000－3けたの数の筆算を考えよう。（P49）

1. 問題

265円の画用紙を買うのに、レジで1000円さつを出しました。おつりはいくらですか。

2. 立式（動作化）

3. 筆算形式にかく。

4. 4人出てきて説明させる。

○説明できないときは、ブロックで説明させる。（補助する。）

○説明できたときは、あとでブロックで説明する。

5. あと1～2問同じようにやる。

6. P49①②－自力解決→個別指導。

第6時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○4けたのたし算ひき算の筆算を考えよう。（P50）

1. $2483+7156$ $5102-4398$

2. 4人出てきて説明させる。

3. P51②③④→一斉指導。

第7時

学習のめあて（作業・知る・考える）

○たしかめよう 算数の目（P52/53）

※計算練習をたっぷりさせたい。WS①②